

2020年3月期第2四半期決算

IR説明会資料

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<https://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを。



<https://www.seamarche.jp>



目次



2020年3月期 上半期の概況

- ・当社を取りまく環境 3ページ
- ・トピックス 4ページ

2020年3月期 第2四半期決算概要

- ・計算書類 6～14ページ
- ・事業セグメント別の状況 15～21ページ

2020年3月期 下半期施策及び業績予想

- ・事業セグメント別の下半期施策 23～24ページ
- ・業績予想 25～26ページ
- ・設備投資及び減価償却費 27ページ



2020年3月期 上半期の概況

経済・社会情勢

- 輸出や生産の弱さが長引いている
- 雇用・所得環境の改善が進み緩やかな回復が続く
- 米中貿易摩擦の影響により事業環境は不透明感が増している

水産・食品業界

- 人手不足による労働・物流コストの増加
- 世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇
- 食の安心・安全に対する高い関心
- 少子高齢化による国内マーケットの変化



トピックス



□ KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS Co.,Ltd.を設立 【4月】

- ▶ 順調に販売が伸長している煮魚・焼き魚製品の新規生産拠点
 - 所在地:タイ王国
 - 資本金:200百万バーツ

□ (株)イチヤママル長谷川水産が当社グループへ加入 【6月】

- ▶ 当社が資本参加(持分20%)
- ▶ 所在地:北海道二世郡八雲町
- ▶ 営業内容:北海道産魚介類の加工販売及び卸売市場の仲卸業務

□ (有)クロシオ水産が当社グループへ加入 【9月】

- ▶ 当社が資本参加(持分70%)し、株式会社化
- ▶ 所在地:高知県幡多郡大月町
- ▶ 営業内容:真鯛を主体とした水産物の養殖事業及び販売業務



2020年3月期 第2四半期決算概要



計算書類



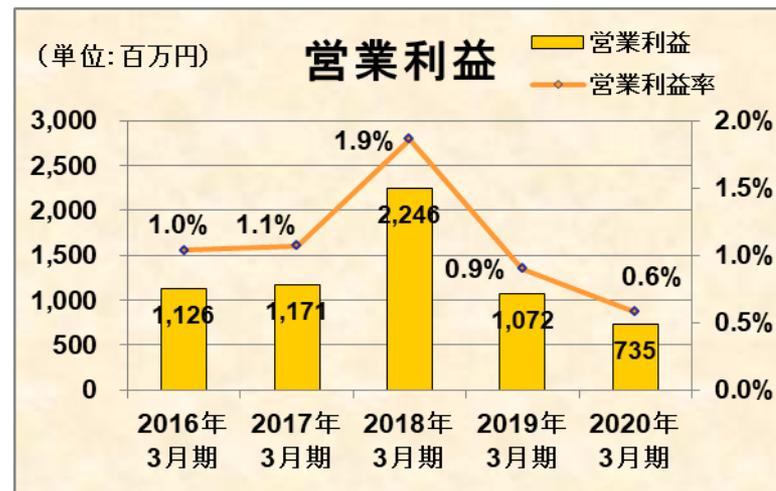
1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初 通期予想	当初通期予想比
	第2四半期連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	連結累計期間	
	2019年3月期 (前期)	2020年3月期 (当期)			2020年3月期 (当期)	(達成率)
売上高	119,202	126,884	7,682	6.4%	286,000	44.4%
営業利益	1,072	735	△337	△31.5%	5,500	13.4%
営業外収益	499	661	161	—	—	—
営業外費用	240	268	27	—	—	—
経常利益	1,332	1,128	△203	△15.3%	5,400	20.9%
特別利益	4	0	△3	—	—	—
特別損失	208	38	△170	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	824	710	△114	△13.8%	3,800	18.7%

- ・ 当 初 予 想 : 2019年5月13日に発表した2020年3月期業績予想数値
- ・ 売 上 高 : 水産商事が58億円、冷凍食品で18億円の増収などにより、前年同期比76億円の増収
- ・ 営 業 利 益 : 水産商事を除く全てのセグメントが増益であったが、水産商事が6億円の減益となり、前年同期比で3億円の減益

2. 上半期連結業績の推移





計算書類



3. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比	
	第2四半期累計期間		(増減金額)	(増減比率)
	2019年3月期 (前期)	2020年3月期 (当期)		
売上高	115,390	126,070	10,679	9.3%
営業利益	785	488	△297	△37.8%
経常利益	847	621	△225	△26.7%
四半期純利益	456	396	△59	△13.1%

- ・売上高：物流サービスを除く全てのセグメントが増収となり、前年同期比106億円の増収
- ・営業利益：冷凍食品、常温食品などで増益となったが、水産商事が6億円の減益となり、前年同期比2億円の減益



計算書類



4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2018年 9月末	2019年 9月末	前年 同期比		2018年 9月末	2019年 9月末	前年 同期比
資産の部				負債の部			
流動資産	95,895	93,563	△2,331	流動負債	65,280	61,897	△3,382
内、受取手形及び売掛金	38,013	37,396	△617	内、短期借入金 (含むCP・CB)	43,128	42,886	△241
内、商品及び製品	39,547	38,538	△1,008	固定負債	26,300	26,047	△253
内、仕掛品	3,100	3,249	149	内、長期借入金	21,380	21,338	△42
内、原材料及び貯蔵品	6,640	8,119	1,478	負債合計	91,580	87,944	△3,636
固定資産	25,938	26,143	204	純資産の部			
内、有形固定資産	15,502	15,653	150	株主資本	29,256	31,296	2,040
内、無形固定資産	517	543	25	その他の包括利益累計額	712	400	△312
内、投資有価証券	6,296	6,308	11	非支配株主持分	284	65	△218
資産合計	121,834	119,707	△2,126	純資産合計	30,253	31,762	1,509
				負債及び純資産合計	121,834	119,707	△2,126



計算書類

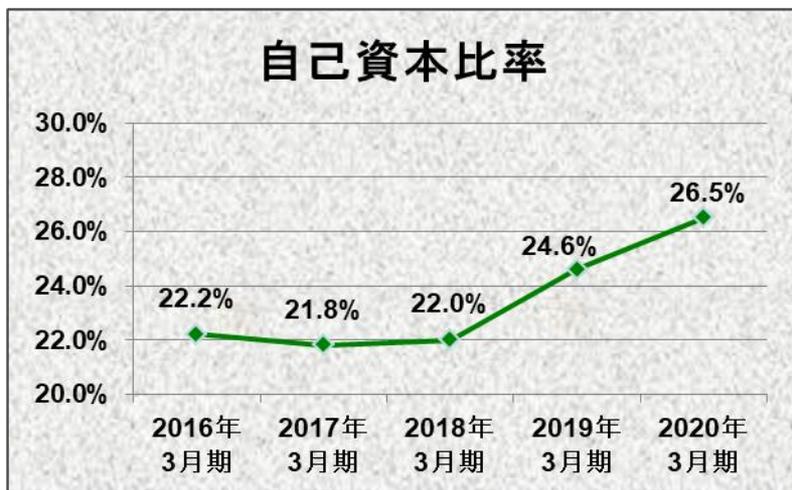


5. 連結キャッシュ・フロー計算書

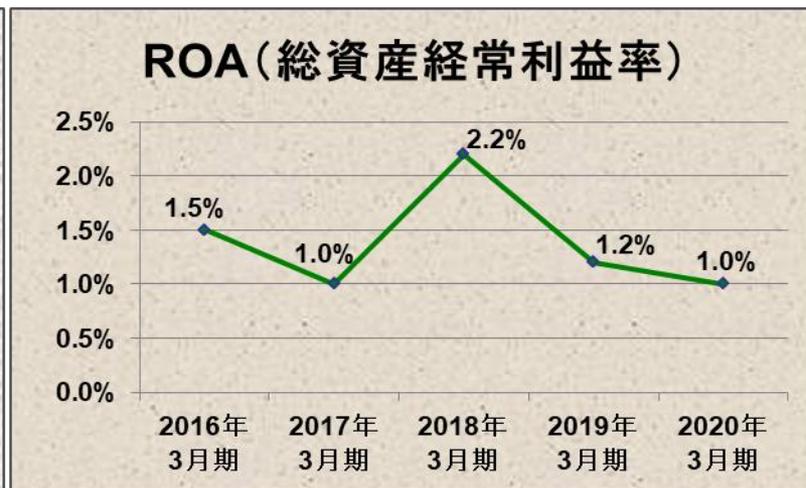
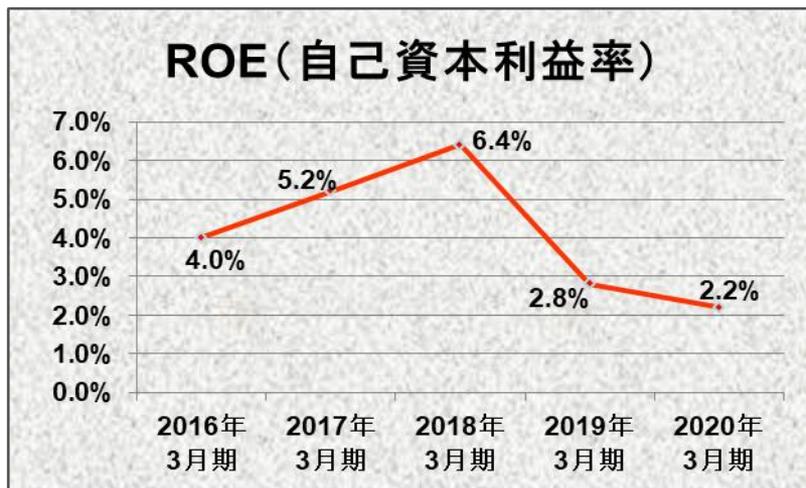
(単位:百万円)

		第2四半期連結累計期間		
		2019年3月期(前期)	2020年3月期(当期)	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前四半期純利益	1,127	1,091	△36
	減価償却費	909	933	24
	売上債権の増減(△は増加)	△5,283	△1,908	3,374
	たな卸資産の増減(△は増加)	△9,448	△4,909	4,539
	仕入債務の増減(△は減少)	1,207	427	△780
	その他	1,325	41	△1,285
	小計	△10,161	△4,324	5,837
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△964	△1,621	△657
	その他	△236	△199	37
	小計	△1,200	△1,821	△620
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金の増減(△は減少)	12,126	4,498	△7,628
	長期借入れの増減(△は減少)	1,549	2,083	533
	その他	△740	△850	△109
	小計	12,935	5,731	△7,204

6. 上半期連結財務指標の推移



7. 上半期連結経営指標の推移





計算書類

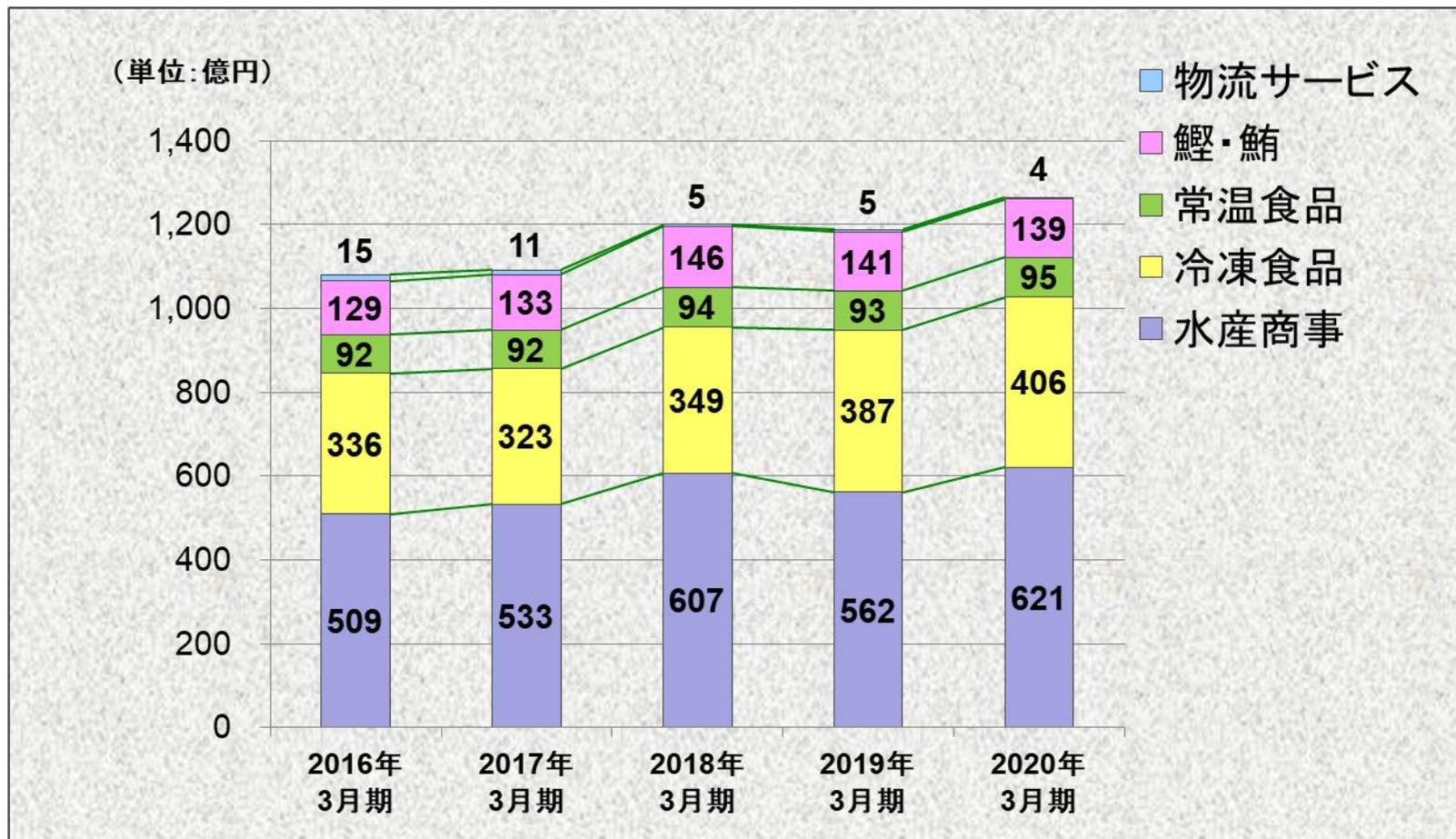


8. 事業セグメント別 売上高及びセグメント利益<連結>

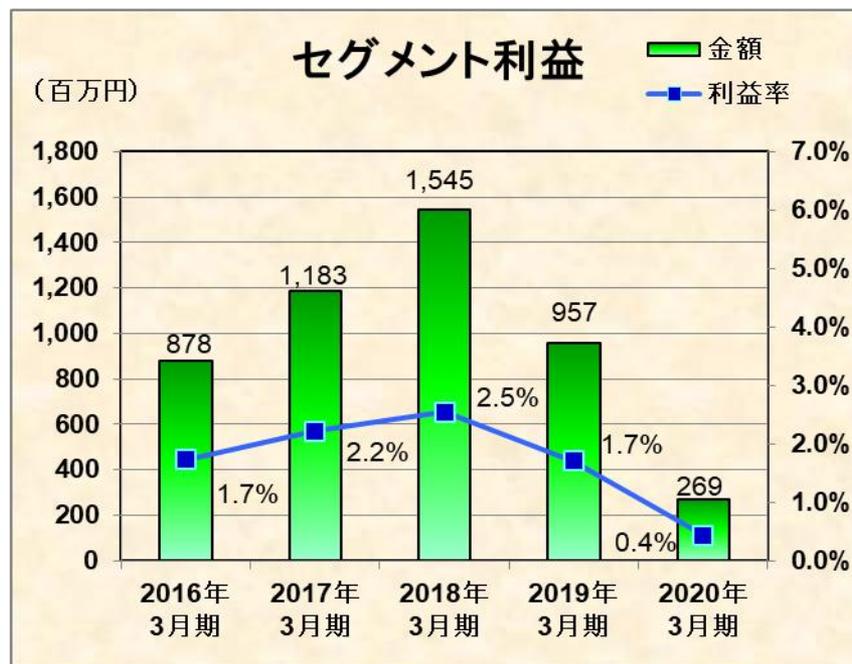
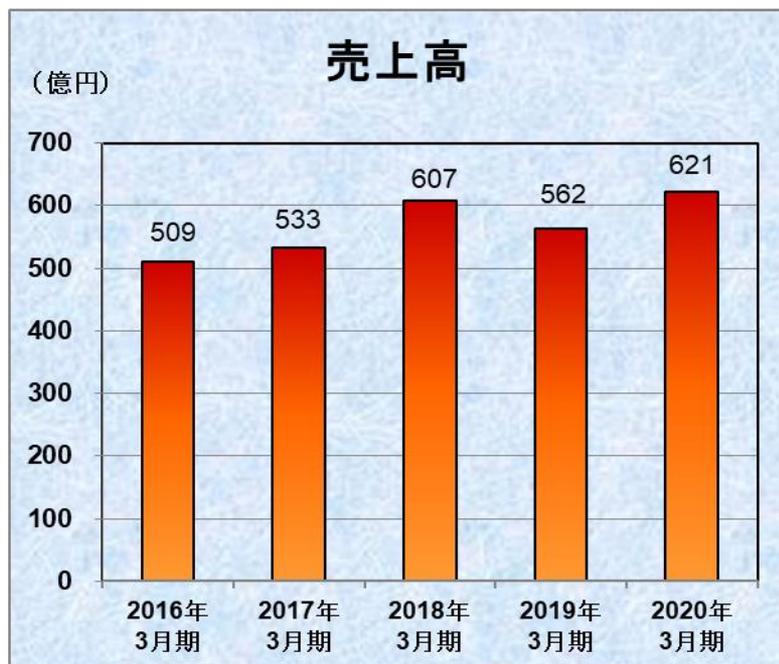
(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間		前年同期比	第2四半期連結累計期間		前年同期比
	2019年3月期(前期)	2020年3月期(当期)		2019年3月期(前期)	2020年3月期(当期)	
水産商事	56,221	62,101	5,880	957	269	△687
冷凍食品	38,772	40,616	1,844	291	351	60
常温食品	9,369	9,523	153	178	325	147
鰹・鮪	14,127	13,994	△133	150	172	22
物流サービス	515	449	△65	136	150	13
その他	195	198	3	△640	△534	106
合計	119,202	126,884	7,682	1,072	735	△337

9. 事業セグメント別 上半期売上高比較<連結>



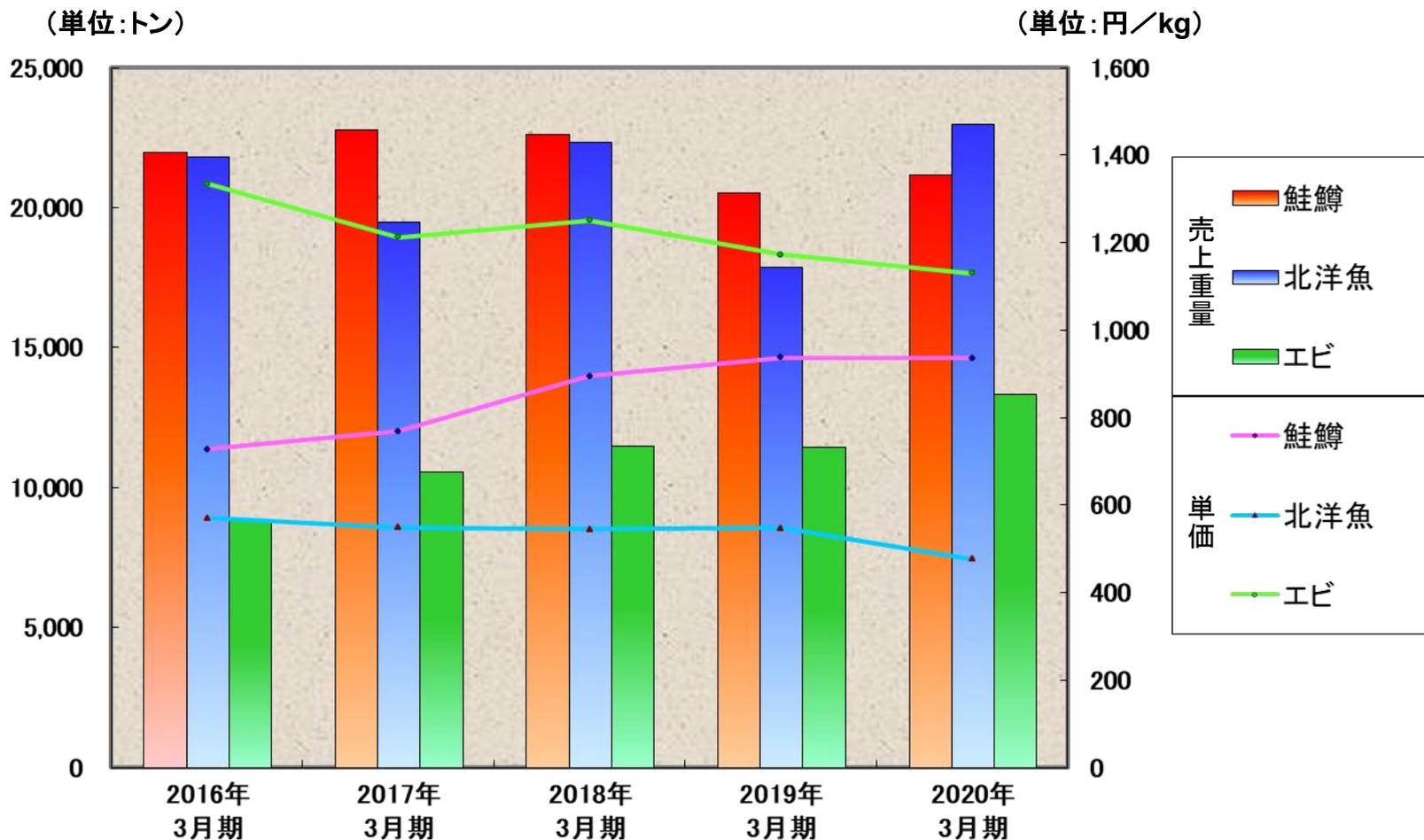
1. 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



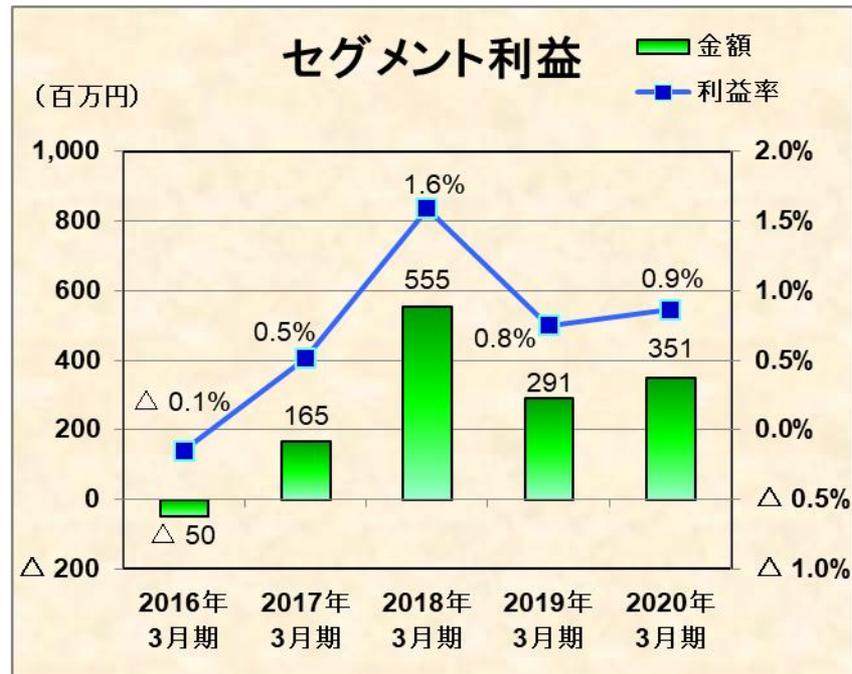
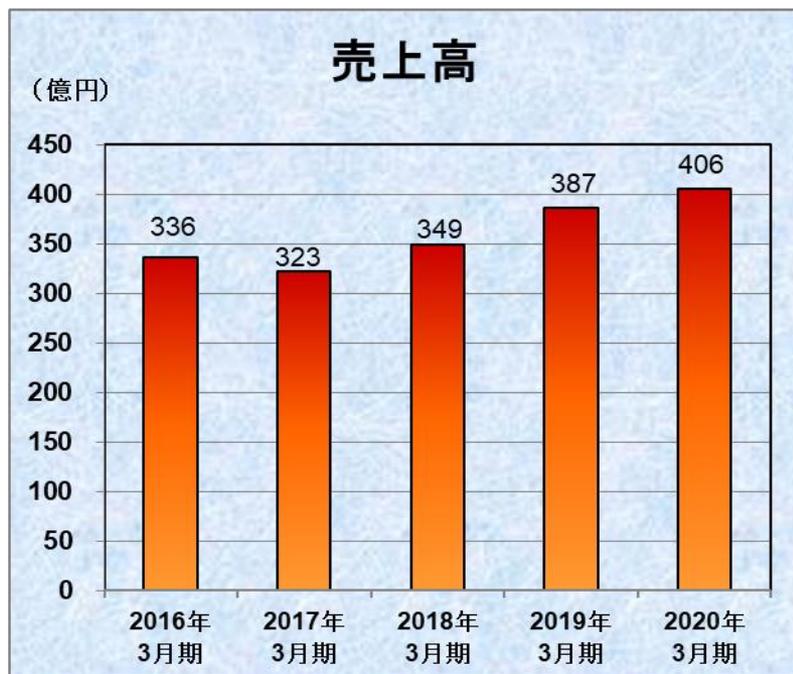
【当期の状況】

- 増収減益
 - 国内では鮭鱒・エビ・北洋魚などの取り扱いが伸長
 - 海外において、サバ・イワシ・ホタテなどの輸出や、米国子会社の北米販売が堅調
 - 紅鮭・チリ銀鮭の市況下落により利益面で苦戦

水産商事事業〈個別〉…上半期魚種別売上重量・単価推移



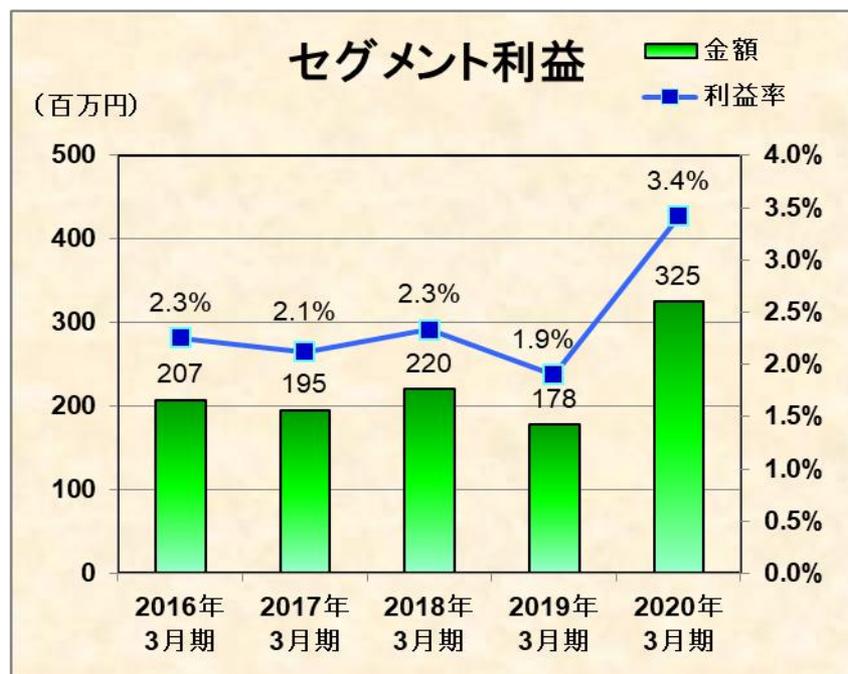
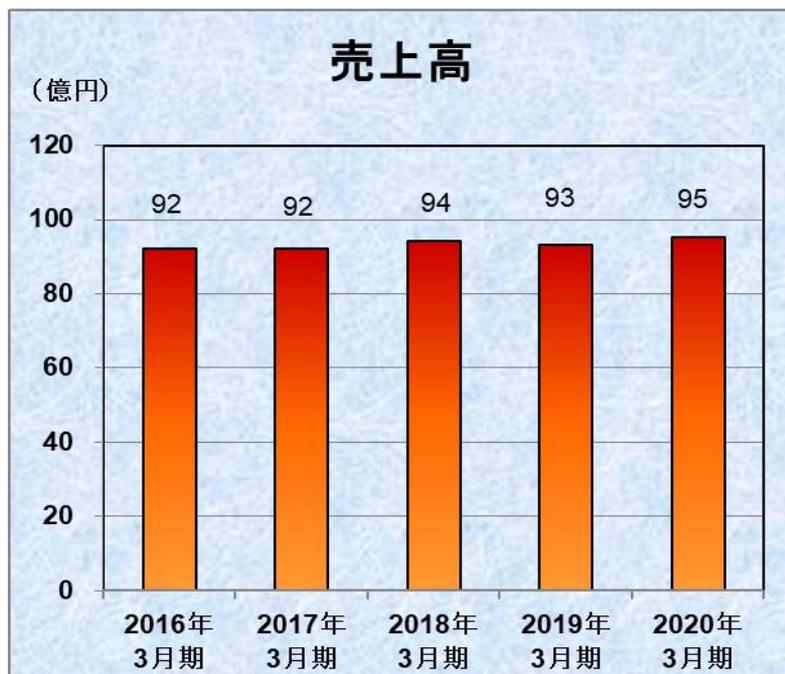
2. 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 寿司種を中心とした生食用商品や加熱用商品を拡販
 - カニ風味かまぼこやフライ類が伸長
 - 家庭用冷食はお弁当商材に加え、米飯や煮魚など、アイテムの多様化を推進

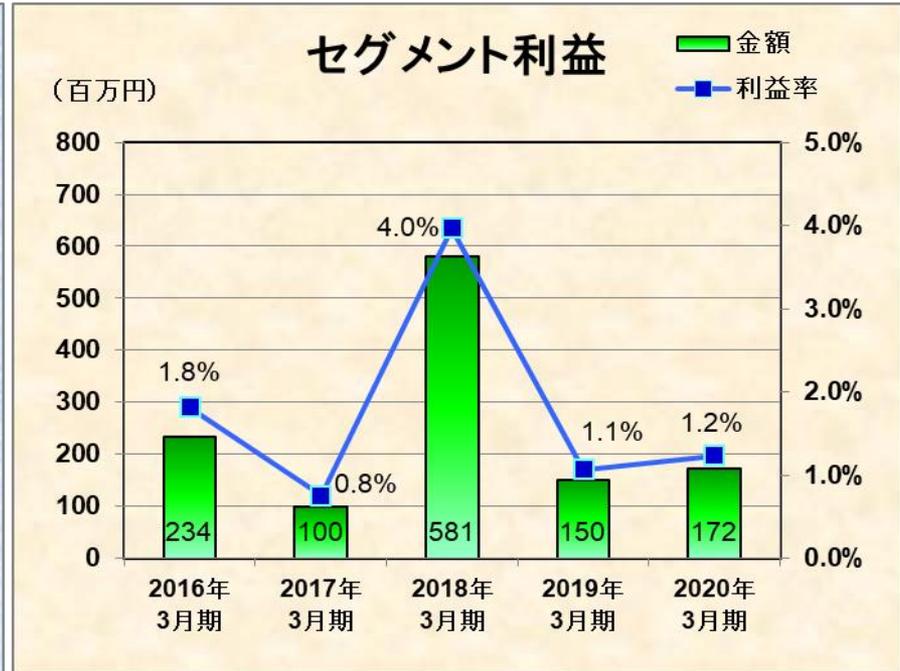
3. 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 缶詰はイワシ・カツオ・サンマ缶の販売が伸長
 - 缶詰・珍味製品とも価格改定や規格変更などにより利益率が改善

4. 鰹・鮪事業〈連結〉…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業

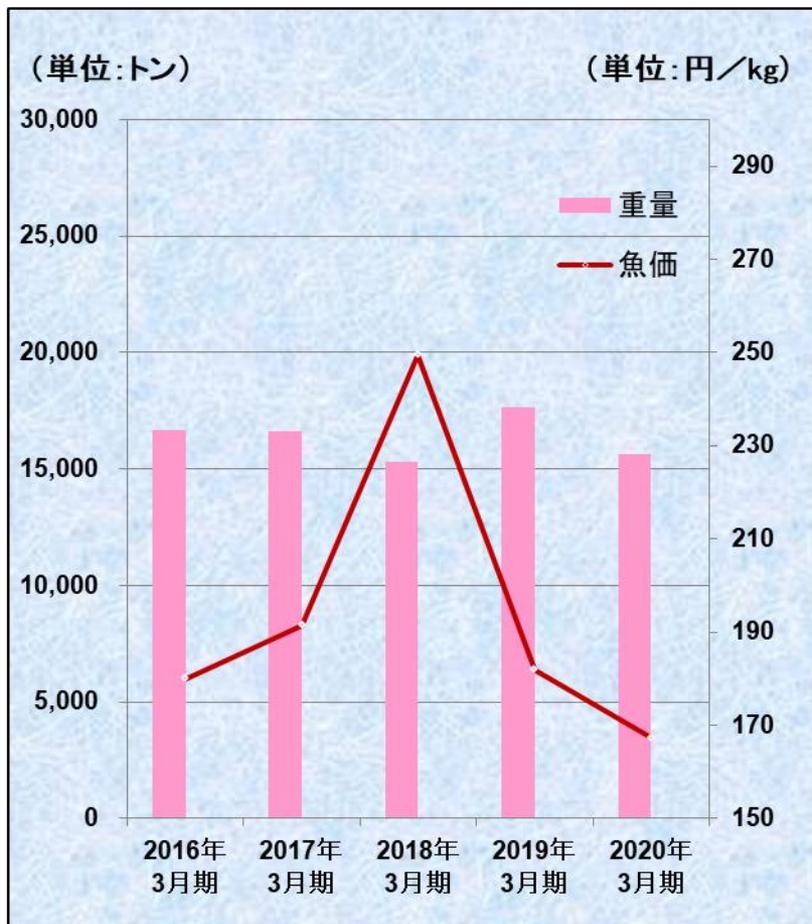


【当期の状況】 □ 減収増益

- 《海外まき網事業》 ➤ 水揚げ数量、魚価が前年同期を下回り減収
- 《養殖事業》 ➤ 大きな風水害の影響がなく生育に応じた出荷を実施
- 《加工販売事業》 ➤ カツオタタキ、ネギトロなどの加工品の販売が伸長

鯉・鮪事業(上半期)

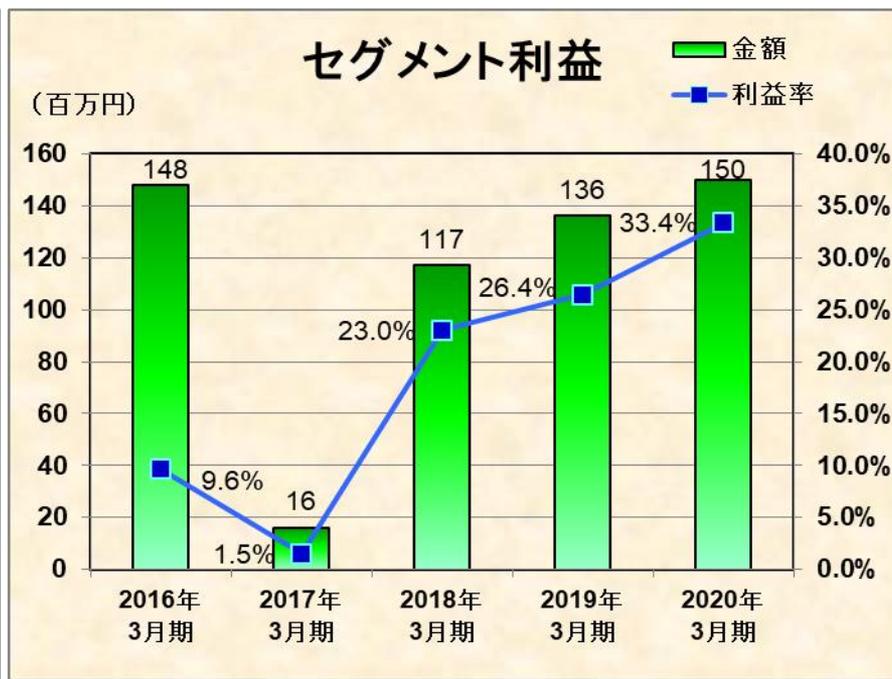
〈海外まき網事業〉…水揚げ推移



〈養殖事業〉…売上推移



5. 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業



【当期の状況】

- 減収増益
 - 冷蔵倉庫事業は在庫貨物の確保を図り営業力を強化
 - 配送事業の強化に努めサービスの向上を推進

※2017年3月期までは冷蔵運搬船事業を含む



2020年3月期 下半期施策及び業績予想



事業セグメント別の下半期施策



➤ 2020年3月期下半期の事業セグメント別施策

【水産商事セグメント】

- 質の高い水産物の安定的な供給
- 高付加価値商品の開発
- 国内・海外の販売ルート強化と開拓

【冷凍食品セグメント】

- 直系工場製品や畜肉、冷凍野菜など、注力商材の販売強化
- 健康・機能性・時短などのマーケットニーズを捉えた商品の開発
- 在庫管理の徹底や効率的配送による経費の削減

【常温食品セグメント】

- サバ・イワシなど水産缶詰の海外調達力を増強
- 注力取引先との取り組み強化による販売拡大

【鰹・鮪セグメント】

- 養殖事業の収益安定化
- 輸入蓄養マグロの取り扱い拡大と末端直結の販売ルート構築
- 海外まき網原料の活用による新製品の開発

【物流サービスセグメント】

- 極洋グループの在庫を核とした庫腹率の向上
- ロジスティクス事業との協業と配送事業の拡大



業績予想



➤ 修正業績予想〈連結〉

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 通期予想			
		当初	修正後	増減	(増減率)
売上高	126,884	286,000	280,000	△6,000	△2.1%
営業利益	735	5,500	4,000	△1,500	△27.3%
経常利益	1,128	5,400	4,500	△900	△16.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	710	3,800	3,000	△800	△21.1%

➤ 配当については、1株当たり70円の従来予想を据え置き。

➤ 事業セグメント別修正業績予想〈連結〉

(単位:百万円)

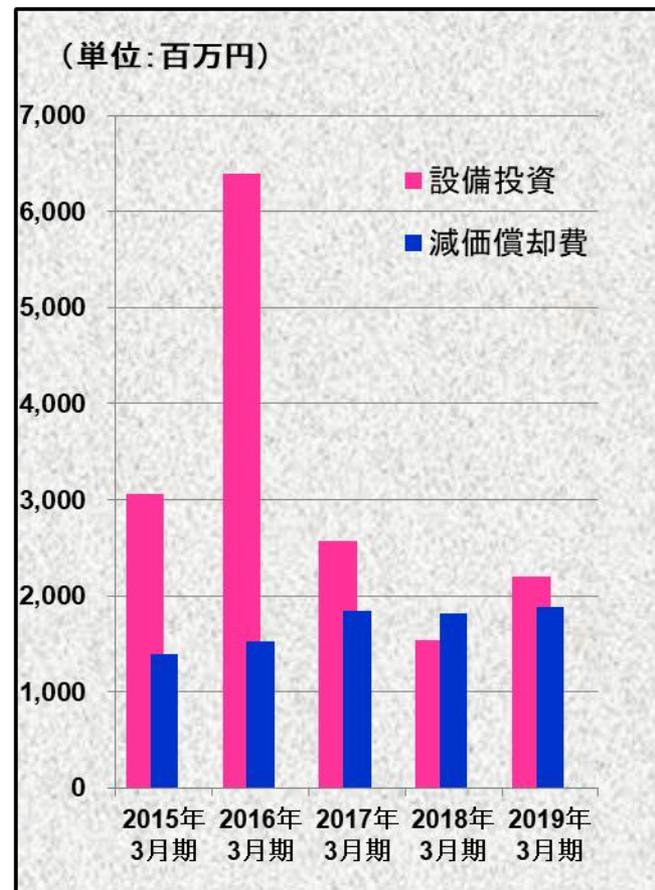
	売上高				セグメント利益			
	2020年3月期 第2四半期実績	当初 通期予想	修正後 通期予想	増減	2020年3月期 第2四半期実績	当初 通期予想	修正後 通期予想	増減
水産商事	62,101	143,000	137,000	△6,000	269	3,000	2,200	△800
冷凍食品	40,616	90,000	90,000	0	351	1,800	1,300	△500
常温食品	9,523	20,000	20,000	0	325	500	650	150
鯉・鮪	13,994	32,000	32,000	0	172	1,200	700	△500
物流サービス	449	1,000	1,000	0	150	200	250	50

設備投資及び減価償却費

➤ 2020年3月期 設備投資計画

	概要	2020年3月期 9月末実績	2020年3月期 計画
極 洋	生産工場関連	0億円	2億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	0億円	1億円
	IT関連その他	1億円	3億円
	計	2億円	7億円
関係会社	生産工場関連	12億円	29億円
	まき網事業関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	0億円	1億円
	IT関連その他	1億円	2億円
	計	13億円	33億円
合計		16億円	40億円

➤ 設備投資・減価償却費推移





本資料は、2020年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。